

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年9月2日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回数 1日目

## 令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

|       |                     |         |              |           |  |
|-------|---------------------|---------|--------------|-----------|--|
| 団体名   | 滑川市                 | 代表者名    | 上田 良美        |           |  |
| 担当者部署 | 教育委員会               | 連絡先電話番号 | 076-475-0281 |           |  |
| 担当者役職 | 所長代理                | 担当者氏名   | 田中 秀信        | 連絡先E-mail |  |
| 住所    | 936-0065 富山県滑川市54番地 |         |              |           |  |

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| アドバイザー                      | 中川 斉史   |
| 評価                          | 大変よい  |
| 上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に） | 講演の内容は、先生自身が実践されたことであり、とても具体的で分かりやすかった。当市でも悩んでいる「端末の持ち帰り」についてや校務のICT活用について、大いに参考になり、自分たちも取り組みたくなった。 |
| アドバイザーへの要望事項                | 特になし  |

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| 3-1. 対応日・時間 | 派遣日予定日（申請書より） | 支援内容（申請書より）     | 期日・支援内容の変更あり | WEBでの手続き日 | 受付番号     |
|-------------|---------------|-----------------|--------------|-----------|----------|
|             | 令和4年8月24日     | 講演(実地)          | 有            | 令和4年8月23日 | 225      |
|             | 実施した派遣日       | 実施した支援内容        | 開始時刻         | 終了時刻      | 内休憩時間（分） |
|             | 令和4年8月24日     | 講演（オンライン）       | 10時00分       | 11時50分    | 5        |
|             |               |                 |              | 活動時間（分）   | 105      |
| 3-2. 派遣場所   | 会場名           | 滑川市立早月中学校       | 最寄駅          | 滑川駅       |          |
|             | 所在地           | 富山県滑川市中野島1260番地 | 最寄駅からの交通手段   | 公用車による送迎  |          |

### 4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

|      |                           |
|------|---------------------------|
| 掲載許可 | <input type="radio"/> 掲載可 |
|------|---------------------------|

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

|  |   |      |
|--|---|------|
| 5-1. 支援を受けた対象者                                   | 属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】   | 人数   |
|  | 滑川市勤務の教職員   | 104人 |
| 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 |   |      |
| 事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）                            | 知識伝達型の授業から、自律的に児童生徒が学ぶ授業への転換（令和の日本型教育）が求められている今、授業改善及び働き方の改善が大きな課題となっている。また昨年度、小中学校には一人一台端末が導入され、児童生徒1人1人の学習に合わせたの利活用が求められているが、教職員のICT活用の意識には格差が見られ、先進的に授業で活用している職員と、従来通りのスタイルに固執しての職員とでは、そのまま児童生徒の技能差さらには意識差へとつながってしまっている。 |      |
| 支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）                           | 教育の情報化に対する教職員の苦手意識を払拭する研修の実施。これからの教育のめざすところとICTとの関係についてや、授業改善に向けてのICTを使うことの利点、具体的な手法を紹介してほしい。   |      |
| アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）                      | 端末を持ち帰る目的は、学校での学びを家でも続けるためである。授業等で学んだことを端末を用いて一人一人振り返った後、それを共有することがたいせつである。学び続ける・学び直しをするという時代が変わってきている。実際におこなった実践事例多数。  |      |

|   |  |                         |
|---|--|-------------------------|
| 支援を受け改善又は解決された内容<br>(具体的にご記入下さい)              | これまでICT活用に抵抗があった教員も、今回の講演を聴き「使ってみたい」と前向きな感想が多数あった。学びを家でも続けていくことや一生涯学び続けていくことなど、時代が変化していることを教員が感じ、今後の授業を変えていきたいと思うことができた。 |                         |
| 具体的な成果物                                       | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。  | ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない |
| 改善又は解決されなかった内容<br>持ち越しとなった内容<br>(具体的にご記入ください) | 今後、本市が進めていくロードマップの作成。校務支援システムの具体的な内容について。  |                         |
| アンケートの内容と分析結果                                 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。<br>別紙参照 |                         |
| 5-3. 今後の計画                                    | 最も当てはまるものをリストより選択下さい   | ③现阶段では課題・問題が残っているため未定   |
| 事業の最終的な目指す姿                                   |  |                         |

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認ください。  
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

1-1.

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



